

## 第 8 回桑名市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	<p>平成27年2月5日（木） 13：30～14：45</p> <p>桑名市役所本庁舎 3階 第2会議室</p>
出席者	<p>委員：7名 市：3名 事務局：9名</p> <p>《桑名市公共施設等総合管理計画 業務委託先》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共ファイナンス研究所</li> <li>・エイト日本技術開発</li> </ul>
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題 公共施設マネジメント</p> <p>(1) 行政改革大綱での位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在までの取り組み内容【資料①】</li> <li>● 新行政改革大綱での公共施設マネジメントの位置づけ【資料②】</li> </ul> <p>(2) 公共施設等総合管理計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 桑名市公共施設等総合管理計画（平成26年度）【資料③】</li> <li>● 桑名市公共施設等総合管理計画（平成27年度以降）【資料④】</li> </ul> <p>(3) 今後の公共施設等マネジメントの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後の桑名市の公共施設マネジメント推進について【資料⑤】</li> </ul> <p>3 その他</p>
概要 (主な意見)	<p>2 議題</p> <p>公共施設マネジメント</p> <p>(1) 行政改革大綱での位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、国で学校を統廃合して新設する場合に80%の補助を出すという話があったが、桑名市として、学校施設、市営住宅に対して、何か具体的に検討していることはあるのか。</li> <li>・市民には統廃合の必要性だけでなく、統廃合した後のビジョンも同時に示して納得してもらう必要があると思う。</li> <li>・学校や住宅は公会計の点から他の施設よりも数字がつかみやすいので、比較的早く計画を立てられると思う。</li> <li>・公共施設マネジメントでは、建築物から入るのではなく、行政のあり方、公共サービスから説き起こしていくということが非常に重要である。すなわち、市民の公共サービスとはどうあるべきか、どういったニーズに対してどのように応えるのか。その上で、それは本当に市がやらなければならないのか、市がやる場合に公共施設が必要なのか、独立した施設でなければならないのかということを考えるものである。</li> </ul>

## (2) 公共施設等総合管理計画について

- ・学校の統廃合では、余ったところは有効活用という話になると思うが、小中学校同士というのも検討していただきたい。
- ・桑名市内では民間住宅が余っているのので、公営住宅を減らして市が民間住宅を借り上げるなどして有効活用してはどうか。また、公営住宅はメンテナンスが大変。他市の事例のように、高齢者向けの賃貸住宅として民間に有効活用してもらうなど、社会のニーズに応えながら、余るものは壊して減らしていくという方針でいかれたほうが財政的にはいいと思う。
- ・長島は津波の心配があるので、避難施設兼住宅、マンションにして、余ったスペースを民間に貸すことを提案する。
- ・「公共施設等総合管理計画」を策定して、今後はどうしていくのか。

## (3) 今後の公共施設等マネジメントの推進について

- ・私は「市民はお客様、税金は売上げ」と考えているが、これは行政経営の心構え、姿勢に関わる部分なので、職員の意識改革という点でよく議論していただきたい。
- ・以前、学校で民間のプールを使っている事例を聞いたことがあるが、どうか。
- ・これからはこれまでの考え方は全然通用しない。いろんな方面から、市民のための公共サービスは何かという議論をしっかりとしていかなければいけないと感じた。
- ・合併当初から公共施設のあり方については議論されてきたが、あまり進展しなかった。ここへきて一気にスピード感が出てきたのはいいことだが、職員、市民がそれについていけるかが非常に心配である。市民への説明も大事だが、職員の意識改革も着実に進めながらやっていただきたい。それができていないと、職員が一番の抵抗勢力になる傾向が強い。
- ・今年1月に出た文科省の手引きで標準学級数というのがある。12学級が一つの目安になるが、市内で27校ある小学校のうち、11校が既にそれ以下になっており、相当過剰な印象を受ける。文科省は12～18学級を推奨しているが、18学級を上回っている小学校が2校ある。統廃合はもちろんだが、児童・生徒数をできるだけ均一化するために校区の見直しが必要である。中学校:小学校は2:1というのが標準的だが、本市は小学校27校に対して中学校9校であり、結果的に小学校数が多い。文科省の基準では、学校を地域コミュニティとして見ており、複式学級ではいけないという姿勢を明確にしている。児童数が少ない中、小規模校のデメリットも踏まえたうえで、本当に教育環境が成立できるかという点をしっかりと見る必要がある。これから進めていくうえで十分に注意していただきたい。
- ・公営住宅に関しては、必要に応じて民間に移管していくのが標準的な考え方である。低所得者向けの家賃補助はもちろん必要だが、公営住宅という形態でなければならないとは憲法に書いていない。健

	<p>康で衛生的な生活を送る権利が保障されているのであって、それは民間でも可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名市の状況は極めて厳しく、施設量を考えると、相当思い切った手段をとらないとしっかりとした総合管理計画にならない。施設がどうしても必要ということであれば、市民に負担を求めるしかない。施設を減らすのか、市民負担を増やすのか、どちらがいいかを常に考えながら、危機感を持って進めていくことが大事である。</li> <li>・総務省の設定した耐用年数と建替等の単価を用いた試算結果であるが、桑名市のハコモノの今後の投資費用は年平均で48億円かかる見込みで、インフラの投資費用16億円とあわせると、64億円になる。これからはハコモノだけを考えるのではなくて、道路の管理方法についても考えていく必要がある。上下水道については当面は大丈夫だが、30年後に多額の更新費用がかかってくる。その点について、総合管理計画の中で方向性を打ち出していく必要がある。</li> <li>・ハコモノの場合は統廃合や広域連携などの手だてがあるが、道路インフラに関してはそういった打開策はなかなかとれない。また、命への影響が懸念される。今回、どちらも並行してやるという点が重要である。ハコモノを思い切って減らして、民間の財源でつくるぐらいの気持ちでないと追いつかないと思う。</li> </ul> <p>3. その他</p> <p>以 上</p>
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>